

第25回： 窒素・リン規制の動向と排水処理技術（その2）

開催日： 1994年12月15日～16日 / 会場： 「アピオ大阪小ホール」大阪府

開催趣旨： 93年8月に、海域における富栄養化防止対策の一環として、閉鎖性海域における窒素、リンの環境基準および排水基準が設定され、10月1日より排水規制が実施されました。また、東京湾などについての環境基準の類型指定を現在検討中です。今後、これらの基準をクリアーするために、海域の汚染状況の的確な把握およびより効果的な窒素、リンの処理技術が必要とされます。

そこで日本水環境学会では、海域における汚染状況、窒素、リン規制動向や処理技術などの最新情報に関するセミナーを2月に行いました。前第24回セミナーは多数のお申し込みをいただきましたが、定員いっぱいのためやむなくお断りした方々もいらっしゃいました。そこで今回はその後の動向も交えながら、所を変え再度同じテーマで開催したいと思います。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 物理化学的窒素除去技術（稲森悠平・照沼洋／国立環境研究所地域環境研究グループ）
- 窒素、リン規制の技術的方向と対策（岡田光正／広島大学工学部）
- 生物学的リン除去技術（味埜俊／東京大学工学部都市工学科）
- 生活排水処理における窒素、リン除去技術（桜井敏郎／神奈川県環境科学センター）
- 大阪湾における水質の現状と対策（久下芳生／大阪府保健部環境局水質課）
- 生物学的窒素除去技術（古川憲治／大阪大学工学部環境工学科）
- 海域の窒素・リン規制をめぐる最近の動向（木村敦彦／環境庁水質保全局水質規制課）
- 物理化学的リン除去技術（小越眞佐司／建設省土木研究所下水道部）